

石川県立伝統産業工芸館 中期経営目標

(実施期間 令和8年度～令和12年度)

令和8年3月 策定

1 施設の設置目的

本県伝統的工芸品の県内外への情報発信の拠点施設として、伝統産業の振興を図ることを目的としています。

2 施設の果たすべき役割

石川県立伝統産業工芸館（以下「工芸館」という。）は、本県伝統的工芸品の県内外への情報発信の拠点施設として設置したものであり、伝統工芸産地と連携を図りながら、伝統的工芸品に関する展示及び催事を実施することにより、本県の伝統産業の振興を図ることを、その役割としています。

3 事業内容

(1) 常設展示

「衣・食・住・祈・遊・音・祭」を彩る美をテーマとして、36品目の伝統的工芸品や制作工程、パネルを展示しています。

(2) 企画展示

伝統的工芸品の魅力を伝えるために、テーマを設けて展示しています。

(3) 催事

伝統的工芸品の制作実演やワークショップ等の体験型プログラム、コンサート等のイベントを実施しています。

(4) ミュージアムショップ

各産地の商品や企画展に関連した工芸品等を販売しています。

4 現状と課題

(1) 管理運営体制について

- ・工芸館では、民間のノウハウを活用して、施設を効率的・効果的に管理するため、指定管理者制度を平成22年度から導入しています。
- ・施設における展示及び催物の企画及び運営、入場料の徴収及び利用促進、施設・設備及び備品の維持管理及び修繕などの業務は指定管理者が行っており、当中期経営目標の実施期間を含む令和8年度から令和12年度までは、「ナカダ・クラフトプロジェクト」を指定管理者として指定しています。

- ・指定管理者による適切な管理運営を行うため、事業内容の確認など管理業務に関する情報共有に努めています。

(2) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

- ・施設の利用促進として、民間のノウハウを活用し、ディスプレイ等に工夫を凝らした魅力ある企画展の開催、伝統工芸士による制作実演・体験指導やワークショップ等の体験型プログラムの実施をするなど、観光客に加えて地元の方々にも繰り返し来館していただけるような取組を実施することにより、入館者の増加に取り組んできたところであり、令和6年度の入場者は、指定管理者制度導入前の平成21年度より39%増の104,276人(2階入場者(有料)は37%増31,609人)となっています。
- ・ミュージアムショップについては、産地のPRや入館者の購買意欲を高めるため、ディスプレイの工夫や、企画展に関連した販売フェアの開催、入館者の声を産地事業者に伝えて商品に反映させるなど、利用者ニーズにあった商品の充実に努めており、今後とも、こうした取組を進める必要があります。
- ・広報活動として、ホームページに加えフェイスブック・インスタグラム等のSNSを通じた展示・実演や体験・イベント情報などの発信や、新聞・フリーペーパー・旅行雑誌などへの情報提供・掲載を行っているほか、海外の旅行会社のツアーへの編入や英語ガイドブックへの掲載など、国内外への積極的な情報発信を行っていますが、今後とも情報発信の充実に努めていく必要があります。
- ・利用者の利便性向上のため、施設職員対象のマナー研修会や英会話研修等の実施により接遇の向上に努めているほか、利用者アンケートやご意見箱、口頭での聞き取りなどにより来場者から意見を把握し、迅速に対応するとともに、職員間での情報共有を徹底していますが、これまで以上に利用者に満足いただくため、取組を進める必要があります。
- ・「兼六園・文化施設共通利用券(兼六園+1利用券)」、「文化の森おでかけパス」など他施設との共通利用券への積極的な参画や、周辺施設との「相互割引制度」の周知を行ってきました。また、国立工芸館の本県への移転に際し、分かりやすい通称として令和2年4月から「いしかわ生活工芸ミュージアム」を使用開始するなど、兼六園周辺の文化施設等との連携による誘客促進を、今後も進める必要があります。

(3) 施設運営の効率化について

- ・省エネルギーへの取組みを徹底することで、光熱水費等の節減に取り組んでいます。

5 中期経営目標

(1) 中期経営目標（指定管理者が実現すべき目標）

- ① 利用者数を5年間で140,000人にします。
- ② 利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

(2) 測定指標と目標値

測定指標		実績値 (R7実績見込み)	中間目標値 (R10)	目標値 (R12)
① 入館者数		110,000人	128,000人	140,000人
	うち2階入場者 数(有料)	34,000人	39,500人	43,500人
② 利用者ア ンケート における 満足度	利用者サ ービス	99.6% (R6)	95%以上	95%以上
	施設の維 持・管理	99.4% (R6)	95%以上	95%以上

6 指定管理者が設定した目標達成に向けた具体的な取組内容

(1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取り組み

- ・施設の利用促進については、日常生活における伝統的工芸品の活用等を提案する多彩な企画展を実施し、併せて実施中の企画展に連動したワークショップ等の体験型プログラムを引き続き開催します。また、常設展の展示物の充実を図るとともに、制作工程や各業種の特徴などについて来館者の理解を深めるための説明パネルの作成を行い、よりわかりやすい展示に努めていきます。さらに、子ども向けの企画展や夏休み等のワークショップなど、親子で楽しめるプログラムを充実させるなど、さらに多くの方に工芸館を利用していただくための取組を推進します。
- ・ミュージアムショップについては、引き続き、企画展に関連した商品の販売や、入館者の声を産地事業者伝えて商品に反映させることなどにより、利用者ニーズに合った商品の充実を図ります。さらに、工芸の担い手と協力した新規開発商品や独自の技術を用いた商品等の紹介に取り組んでいきます。
- ・広報活動については、マスコミ等への情報提供や、東京の県アンテナショップ、金沢駅観光案内所等へのチラシ設置のほか、海外旅行会社のツアーへの編入や英語ガイドブックへの掲載など海外への積極的なPR活動などに引き続き取り組みます。また、引き続きホームページやフェイスブック・インスタグラム等のSNSを活用して、企画展やイベント情報等の積極的な発信に取り組めます。
- ・来館者の方々のご意見・ご要望を把握するため、アンケート等を引き続き実施する

ことで、サービスの向上に努めていきます。

- ・他の文化施設との連携については、兼六園周辺の文化施設等と連携したイベント等への参加や、県外の伝統工芸産地とも連携した企画展を今後も実施することにより、相乗効果による入館者の増加を図ります。

(2) 施設運営の効率化に向けた取り組み

- ・常に清潔で安全快適な館内環境を提供するために、こまめに点検・保守・修繕作業を実施して、引き続き光熱水費等管理コストの縮減を図ります。

参考資料(施設の利用状況など)

(1)入場者数の状況

	R4	R5	R6	R7(見込み)
入館者数	72,869 人	90,938 人	104,276 人	110,000 人
うち2階入場者数(有料)	22,993 人	30,929 人	31,929 人	34,000 人

(2)利用者アンケート指標(利用者サービス、施設の維持管理) (単位:%)

項目	R4	R5	R6
良い	75.0%	71.7%	78.5%
概ね良い	23.9%	28.0%	21.0%
計	98.9%	99.7%	99.3%
やや悪い	1.1%	0.3%	0.5%
悪い	0.0%	0.0%	0.0%

(3)使用許可等の状況

該当なし

(4)使用料の収入実績

項目	R4	R5	R6
入館料収入	4,268 千円	4,357 千円	4,632 千円
ショップ販売手数料収入	6,720 千円	11,302 千円	14,633 千円
計	10,988 千円	15,659 千円	19,265 千円